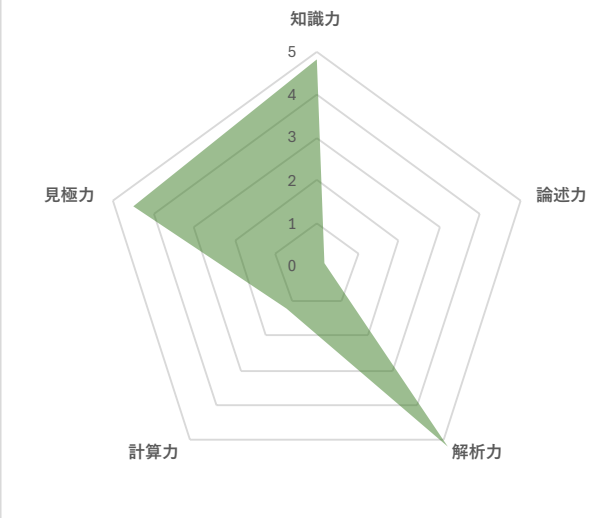


総合分析

試験区分	一般 (2日目)		
制限時間	不明	大問数	全 5 問

合格に要する能力 (5段階)

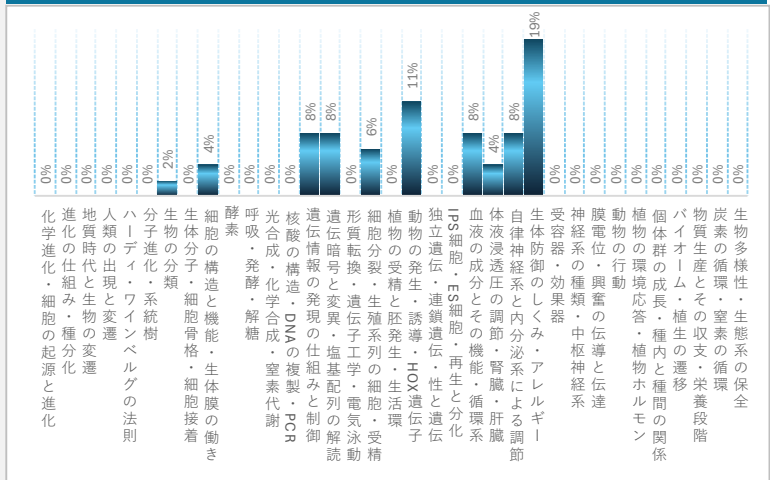


出題分野	
系統と進化	2%
生命現象と物質	4%
遺伝子	15%
生殖と発生	17%
生物の環境応答	38%
生態	0%

本年度 解答形式	
選択肢	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	動物の発生
第 2 問	遺伝情報の発現, コドン表
第 3 問	免疫, ノードマウス
第 4 問	血糖調節, インクレチン
第 5 問	食虫植物の進化, PCR検査

本年度 出題詳細分類



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	4.6	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	5.0	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	4.3	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞あり	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	3.1	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	62%
分量	80分	完答に要する時間 (制限時間は分)	判定不能	標準	

入試の特徴と対策	▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。
----------	---

入試から見る 大学が求める学生像	大問数も多く、難度の高い問題が散見される。新しいテーマの提示に対して、物怖じせずに取り組む姿勢が求められる。設定が不十分な問題が出題される場合もあるので、時間を浪費し過ぎずに臨機応変に取り組めるようにしたい。
---------------------	--